



あっというまに夏休みも終わり、2学期が始まりました。秋は小中学校それぞれに運動会や修学旅行、文化祭など学校行事が目白押しです。学校図書館としても秋の読書週間などイベントが控えており、何かと日常業務も多忙となりますが、出来るだけ前倒しで準備を進めていきたいものですね。



令和元年度 学校図書館支援センター実務研修会 開催報告

去る8月21日・23日、昨年度に引き続き東京学芸大学非常勤講師の渡辺暢恵先生を講師にお招きし、『授業で活用する学校図書館2—各教科での活用、新聞の活用(回し読み新聞)—』をテーマに、学校図書館支援センター主催の実務研修会を行いました。

昨年同様、参加者は司書教諭と図書館指導員でしたが、今年度は対象を小学校と中学校とに分け、よりきめ細やかな講義内容となりました。両日ともに、午前はオリエンテーション指導案などを用いての講義、午後はNIE(Newspaper In Education=新聞を活用した教育)の実践で『回し読み新聞』を作成しました(参考:『まわしよみ新聞をつくろう!』陸奥賢著/創元社)。回し読み新聞の作成は全員初めてでしたが、グループでの実習は他校との交流でもあり、楽しく有意義な時間を過ごせたと満足度が高かったようです。

神栖市では2017年から、学校図書館内に2紙以上の新聞(一般紙と子供向け各1)を購読できるよう予算措置をしています。

今回の学びを学校に持ち帰り、意欲冷めやらぬ2学期のうちにぜひ、授業や図書委員会などで実践してみてください。



実習を終えて

受講者の声

- ・普段、自分が目を飛ばす記事でも他の方が選んだ記事を読めるのも新鮮だし、それについて感想を述べ合うのも楽しかった。
- ・それぞれ選ぶ記事に個性が垣間見えて、人に対する理解が深まった。うちでもう一度新聞を読み込んでみたい。新聞活用のよいきっかけになった。
- ・記事を切り抜いたり絵を描いたり、子どもたちも1人ひとりで自分ができる役割で参加できることも大切。感想をお互い述べ合い考えを深めるのも勉強になる。



実務研修会終了後、受講者が作成した“回し読み新聞”を中央図書館ホールの展示ケースに展示しています。

調べ学習セットに 新たなテーマを追加します

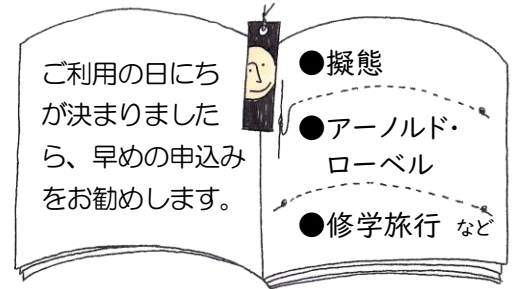


2学期に利用が多く
見込まれるテーマ

前号でも触れましたが、学校図書館支援センターでは現在、調べ学習セットを25テーマ72箱用意し、小・中学校図書館の授業支援をサポートしています。

今年度も指導員の皆さんから要望のあったテーマを取り入れながらセット数を増やしており、今後さらに下記のテーマも追加する予定です。

- 民話
- 新美南吉
- 工作
- 新聞づくり



貸出開始時期は未定ですが、現在 鋭意作成中ですのでご期待ください。

今年度は昨年度からの『学校図書館活用実施記録』がありますので、教員への利用の働きかけや参考図書の準備も計画的にすすめやすいかと思えます。大いにお役立てください。



図書館の本棚より 新着図書のご案内

『蛾のおっさんと知る衝撃の学校図書館格差』

山本みづほ／著（郵研社）

017ガ



子どもの学びに寄り添うはずの学校図書館は、自治体によって信じられないような教育格差がある！？

子どもたちのために学校図書館を飛び回る「蛾のおっさん」が、学校図書館の「今」を伝え、「これから」を考える。

『図書館のための簡単な本の修理』

高岡容子／著（少年写真新聞社）

014ト



図書館で働く人々へ向け、費用をあまりかけず、身近にある道具で簡単にできる児童書の修理方法を、写真やイラストで紹介。利用者へのアナウンスや、日常のメンテナンスなど、本の取り扱いについても触れる。

2学期の学校図書館支援センターの主な動き

★統計報告の提出★ 毎月10日まで（早めの提出をお願いします）

★配本の予定★ 第3回目：9/4から10/23（波崎地区）、9/5から10/24（神栖地区）

第4回目：10/30から12/18（波崎地区）、10/31から12/19（神栖地区）

★図書購入★ 3回目図書購入依頼書の配布（9月第2週）→ 3回目図書購入依頼書提出（9月第4週）

★定期巡回★ 9月・10月・11～12月の計3回 訪問予定（各校の訪問日は巡回スケジュールを参照）